

2026年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 2 月10日
東

上 場 会 社 名 トーソー株式会社 上場取引所
コ ー ド 番 号 5956 URL <https://www.toso.co.jp>
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 八重島 真人
問合せ先責任者 （役職名） 経営管理部長 （氏名） 石坂 春彦 （TEL） 03-3552-1211
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 3 月期第 3 四半期の連結業績（2025年 4 月 1 日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	16,986	3.2	641	79.9	675	70.3	442	88.4
2025年 3 月期第 3 四半期	16,462	4.0	356	45.3	396	33.7	234	51.3

（注）包括利益 2026年 3 月期第 3 四半期 630百万円（ 81.6％） 2025年 3 月期第 3 四半期 346百万円（ △17.1％）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期第 3 四半期	49.94	—
2025年 3 月期第 3 四半期	26.27	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	23,061	15,288	65.9
2025年 3 月期	22,205	14,781	66.2

（参考）自己資本 2026年 3 月期第 3 四半期 15,205百万円 2025年 3 月期 14,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	5.00	—	6.50	11.50
2026年 3 月期	—	5.00	—		
2026年 3 月期（予想）				5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3 月期の連結業績予想（2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,500	3.1	600 △19.7		630 △18.6		400 △20.0	45.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	10,000,000株	2025年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,162,774株	2025年3月期	1,130,682株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	8,861,232株	2025年3月期3Q	8,940,219株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調にて推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策や不安定な国際情勢等の地政学リスク、原材料価格の高騰をはじめとする物価上昇など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、新設住宅着工戸数は建築基準法・建築物省エネ法改正に伴う駆け込み需要の反動により、大幅に減少しました。非住宅向けの建築着工床面積全体は減少傾向にて推移したものの、当社への影響が大きい宿泊施設や飲食サービス業は前年を上回りました。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第3フェーズ（2024～2026年度）の2年目として、3つの重点施策（新しい企業価値創造、成長戦略の推進、強固な経営基盤の再整備）を推進しました。具体的には、主力の住宅分野の深耕とあわせて、宿泊・医療施設を中心とした非住宅分野の獲得推進、用途開発による既存製品の販売領域拡大、高級ホテル獲得等の海外販売の強化、新規ビジネス領域への営業活動を展開しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,986百万円（前年同期比3.2%増加）、営業利益は641百万円（前年同期比79.9%増加）、経常利益は675百万円（前年同期比70.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は442百万円（前年同期比88.4%増加）となりました。

〈経営者の視点による当期経営成績の認識および分析〉

売上高は、海外販売は不振となったものの、コアビジネスである国内住宅市場や非住宅分野への販売が好調に推移したことで、前年同期比3.2%増加となりました。

売上総利益率は、41.4%と前年同期を上回りました（前年同期は40.5%）。原材料価格の高騰や為替変動等の影響もありましたが、原価低減活動や価格改定等が寄与しました。原価低減については重点課題として継続的に取り組んでまいります。

販売費及び一般管理費は、要員増やベースアップによる人件費の増加等により、前年同期比1.3%増加となりました。

営業外損益全体では、為替差損益の影響等により34百万円の利益（前年同期比15.2%の減少）、また、特別損益は投資有価証券売却益や損害賠償金収入の発生等により全体で28百万円の利益（前年同期は2百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（室内装飾関連事業）

室内装飾関連事業においては、10月に住宅向け電動カーテンレール「レガートコモ」を発売し、住宅市場での高付加価値商品の拡販に努めました。また、11月に日本最大級の国際インテリア見本市「JAPANTECH2025」に出展し、当社製品の展示に加え、カーテン市場の活性化に向けてファブリックスメーカーとのカーテンスタイルの共同展示を行いました。

売上高は、住宅分野では新製品を発売した木製ブラインドやパーチカルブラインド等の販売増、非住宅分野では宿泊施設の獲得が寄与したこと等により、売上高は16,616百万円（前年同期比3.2%増加）となりました。セグメント利益については、売上高の増加および昨年度より段階的に実施した価格改定の寄与により、620百万円（前年同期比87.6%増加）となりました。

（その他）

その他の事業では、ステッキ等の福祉用品の販売活動を推進しました。新規取引先が増加したこと等により、売上高は370百万円（前年同期比1.2%増加）となりました。セグメント利益については、為替影響および要員増による人件費の増加等により、20百万円（前年同期比20.5%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、現金及び預金、原材料及び貯蔵品の増加により、前連結会計年度末と比較して855百万円(3.9%)増加し、23,061百万円となりました。

負債については、短期借入金、繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末と比較して348百万円(4.7%)増加し、7,772百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金、繰延ヘッジ損益の増加により、前連結会計年度末と比較して507百万円(3.4%)増加し、15,288百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は、短期借入金等、流動負債の増加により流動比率は263.0%(前期末266.1%)となっており、また自己資本比率は、65.9%(前期末66.2%)となっており健全性を維持しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,948,850	4,452,040
受取手形及び売掛金	4,467,273	3,795,876
電子記録債権	3,415,111	3,597,587
商品及び製品	1,603,554	1,721,721
仕掛品	310,745	376,976
原材料及び貯蔵品	2,129,387	2,426,080
その他	624,876	727,492
貸倒引当金	△7,842	△879
流動資産合計	16,491,957	17,096,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,569,403	5,623,548
減価償却累計額	△4,805,753	△4,818,500
建物及び構築物（純額）	763,649	805,047
機械装置及び運搬具	4,480,560	4,306,829
減価償却累計額	△3,864,319	△3,713,620
機械装置及び運搬具（純額）	616,241	593,209
工具、器具及び備品	4,463,415	4,600,200
減価償却累計額	△4,114,524	△4,282,004
工具、器具及び備品（純額）	348,890	318,196
土地	1,217,906	1,217,906
使用権資産	120,213	89,163
建設仮勘定	29,570	59,959
有形固定資産合計	3,096,471	3,083,481
無形固定資産	271,038	264,993
投資その他の資産		
投資有価証券	1,000,493	1,256,746
長期貸付金	21,690	19,542
退職給付に係る資産	836,510	852,699
繰延税金資産	111,262	105,654
その他	376,028	384,566
貸倒引当金	-	△3,136
投資その他の資産合計	2,345,985	2,616,072
固定資産合計	5,713,495	5,964,548
資産合計	22,205,452	23,061,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,006,674	953,591
電子記録債務	1,271,971	1,205,319
短期借入金	1,854,170	2,834,445
リース債務	26,293	57,464
未払金	620,299	524,452
未払費用	658,156	438,713
未払法人税等	220,463	127,504
その他	540,588	358,726
流動負債合計	6,198,617	6,500,217
固定負債		
長期リース債務	91,541	35,855
繰延税金負債	362,722	474,754
退職給付に係る負債	402,473	394,806
資産除去債務	134,220	134,908
その他	234,775	232,353
固定負債合計	1,225,731	1,272,679
負債合計	7,424,349	7,772,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,352,730	1,353,920
利益剰余金	11,432,261	11,772,825
自己株式	△530,953	△550,437
株主資本合計	13,424,039	13,746,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554,075	745,017
繰延ヘッジ損益	200,189	303,200
為替換算調整勘定	499,483	390,376
退職給付に係る調整累計額	21,187	20,122
その他の包括利益累計額合計	1,274,935	1,458,716
非支配株主持分	82,127	83,524
純資産合計	14,781,102	15,288,548
負債純資産合計	22,205,452	23,061,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	16,462,731	16,986,937
売上原価	9,793,873	9,951,523
売上総利益	6,668,858	7,035,413
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,305,000	1,305,682
広告宣伝費	473,404	347,107
販売促進費	240,580	240,915
貸倒引当金繰入額	392	-
役員報酬	70,962	75,054
従業員給料及び手当	1,902,368	1,951,325
従業員賞与	366,528	435,214
退職給付費用	85,731	101,077
福利厚生費	449,110	467,037
減価償却費	148,010	142,823
賃借料	367,813	422,564
旅費及び交通費	244,206	240,733
研究開発費	14,172	20,090
その他	644,206	644,619
販売費及び一般管理費合計	6,312,489	6,394,247
営業利益	356,368	641,165
営業外収益		
受取利息	12,329	13,361
受取配当金	30,248	37,268
スクラップ売却益	12,631	10,179
為替差益	7,672	-
その他	5,927	3,473
営業外収益合計	68,809	64,283
営業外費用		
支払利息	20,467	23,154
為替差損	-	2,921
保険解約損	3,625	3,301
その他	4,468	792
営業外費用合計	28,561	30,169
経常利益	396,616	675,279
特別利益		
固定資産売却益	2,363	1,434
投資有価証券売却益	1,599	15,581
損害賠償金収入	-	12,576
特別利益合計	3,962	29,592
特別損失		
固定資産売却損	-	768
固定資産除却損	1,700	344
特別損失合計	1,700	1,112
税金等調整前四半期純利益	398,878	703,759

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
法人税等	160,724	254,542
四半期純利益	238,153	449,216
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,270	6,724
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,883	442,491

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	238,153	449,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,016	190,942
繰延ヘッジ損益	39,693	103,011
為替換算調整勘定	13,244	△111,848
退職給付に係る調整額	△7,144	△1,203
その他の包括利益合計	108,809	180,901
四半期包括利益	346,963	630,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,206	626,272
非支配株主に係る四半期包括利益	3,756	3,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社および国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内装飾 関連事業	計				
売上高						
一時点で移転される財	16,097,125	16,097,125	365,606	16,462,731	—	16,462,731
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	16,097,125	16,097,125	365,606	16,462,731	—	16,462,731
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,097,125	16,097,125	365,606	16,462,731	—	16,462,731
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	349	349	△349	—
計	16,097,125	16,097,125	365,956	16,463,081	△349	16,462,731
セグメント利益	330,942	330,942	25,426	356,368	—	356,368

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ステッキ等の福祉用品の開発、販売を行っております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内装飾 関連事業	計				
売上高						
一時点で移転される財	16,616,906	16,616,906	370,030	16,986,937	—	16,986,937
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	16,616,906	16,616,906	370,030	16,986,937	—	16,986,937
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,616,906	16,616,906	370,030	16,986,937	—	16,986,937
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	112	112	△112	—
計	16,616,906	16,616,906	370,143	16,987,049	△112	16,986,937
セグメント利益	620,958	620,958	20,207	641,165	—	641,165

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ステッキ等の福祉用品の開発、販売を行っております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月14日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分等により自己株式は8,409千円減少しております。

また、2025年8月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。これにより自己株式は27,894千円増加しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において自己株式は550,437千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	437,482千円	489,150千円